



議会だより

なまふる



9

No.

2008 .7 .1 発行



6月8日、豊西小学校の運動会では、綱引きなどに子供たちの明るい応援の聲がこだましていた  
(写真、左上)



5月31日、紺碧の空の下の風連中学校体育祭は、「魂見せろや!!  
Do it Now!」のテーマで元気いっぱい競技が繰り広げられた。  
(写真、上右と下)

## 第2回定例会

主な内容

定例会で決まったこと .....	2
議会改革調査特別委員会・議員協議会 .....	3
一般質問に12人 .....	4 ~ 9
議会活動スナップ・用語解説・可決された意見書 .....	10
各委員会報告 .....	11
へこたれない・議会日誌・編集後記 .....	12

## 第2回定例会 6月2日～16日の15日間

### 100件分 2,000万円を追加 好評な住宅リフォーム促進助成事業

平成20年第2回定例会は、6月2日から16日までの15日間開かれました。  
議案等の審議では住宅リフォーム促進助成事業の追加補正予算をはじめ22件、報告で9件、諮問で1件、意見書で9件が可決されました。  
一般質問は、12日・13日・16日の3日間行われ、12人の議員が市政に関する諸課題について質問しました。

#### 主な条例

名寄市高齢者自立支援事業条例の一部改正

この条例の改正は、利用者が年々増加している除雪サービス等助成事業について、対象者を65歳以上の高齢者のみの世帯としてきたものを、70歳以上の高齢者のみの世帯に。1シーズンの助成額では、新たな所得制限として生活扶助基準額の1.3倍以下の世帯に対し24,000円に。いずれも平成24年度まで5年間の経過措置を設け、段階的に改めようとするものです。

この条例の審査を付託された民生常任委員会は、重度身体障害者のみの世帯の他に、65歳以上69歳までの虚弱と認められる者のみの世帯も事業の対象とする、原案の一部修正を行い、この修正案が本会議で可決されました。

なお、風連地区における除雪サービス事業については、従来通りで改正はありません。

#### 主な補正

住宅リフォーム促進助成事業費

住宅リフォーム促進助成事業の利用が大変好調なことから、当初予算に計上している50件分1,000万円に、100件分2,000万円を追加しました。

平成20年度については、150件分3,000万円をもって終了予定です。

北京五輪名寄市民後援会補助金

名寄市出身で、北京オリンピック女子柔道57キログ級に出場する佐藤愛子選手の市民後援会に対して補助するもので、400万円の予算を追加しました。

#### 人事案件

#### 中尾副市長に同意



5月31日をもって今尚文副市長が退任したことにより、新たに中尾裕二氏の副市長への選任に全会一致で同意しました。

中尾 裕二氏（昭和23年生れ）

神奈川大学法学部卒。昭和48年4月名寄市福祉事務所福祉課福祉係を振り出しに、財政係長、財政課長、市立短大事務局長、大学準備室参事監、名寄市立大学事務局長、総務部長を歴任。



人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

長谷川 良雄氏（再任）

名寄市西2条南6丁目25番地



#### 第2回臨時会4月17日開催

名寄市教育委員会委員の任命について同意しました。

松田 潤子氏（新任）

名寄市風連町仲町138番地8

#### 審議日程

6月2日(月)	・議会運営委員会
・開会	13日(金)
・委員会報告	・一般質問
・行政報告	16日(月)
・議案の審議	・一般質問
・議員協議会	・意見書の審議
12日(木)	・委員の派遣
・一般質問	・閉会

## 議会改革調査特別委員会

## 議会基本条例の策定へ

当委員会では、これまで議会運営に関して、各党派・議員から提案、提言を受け議論を進めてまいりましたが、これらに一定の方向づけを見出すことができました。5月に開催された第8回委員会から、議会基本条例の制定に向けて、本格的な検討に入りました。

議論はまず、議会基本条例の考え方について検討を開始いたしました。市民の負託にこたえる議会のあり方、議会活動の質的向上など、総論部分、各論部分、個別論点に分けて検討を進めることといたしました。

条例前文で、自治体における二元代表制の原則に基づき、議会が果たすべき使命やそのための議会運営の基本姿勢を明確にする。その上で、本則においては「議会の情報公開」「議会の市民参加」「議会の自由討論」「議会と市長等との



関係」を柱に立てて、個別の主要論点を整理し、条例を構成する方向で議論がなされました。

今後はこれら4つの柱を中心に、それぞれ具体的に個別の論点を整理し、条文化を図る作業を進めなければならないと考えています。

委員会では、こうした議論と平行して、市民の皆さんとの懇談等、制定に向けた今後のスケジュールを立て、計画的に作業を進めてまいりたいと考えています。

市民の皆さんの声が反映された議会基本条例制定にご理解とご協力をお願いいたします。

## 議員協議会

## 市街地活性化等で議論

5月30日開催の協議会では、「中心市街地活性化基本計画」の策定作業について「まちづくり委員会」で準備を進めているが、当面作業は遅れている。今後認定協議会を設立して計画素案、事業実施体制など検討し、事後に法定協議会を設置し更に検討した上で、年内に計画書を策定し、来年1月又は2月頃に国へ提出、認定を受けるとしている。当面の検討・作業項目として、3・6街事業と周辺関連事業を重点に駅横関連事業、まちづくり会社の設立等を推進する



ことなどの説明があった。議員から、コープ札幌の出店に対する考え方の質問に対し、今副市長からは、「総合計画との融合を図りながら早期に結論を出す」とし、上田経済部次

長からは、「JRと土地の件で折衝中だが、昨年から大きな変化はない、との答弁があった。

6月2日開催の協議会では、公社等の経営状況の報告があり、名寄振興公社はコスト縮減努力等により723万792円の利益、ふうれんは営業外収益の部門等の増収により220万1,101円の利益、風連望湖台振興公社は経費削減努力等により71万2,424円の利益となったが、土地開発公社は256万6,361円の損失、社会福祉事業団は2,793万1,013円の余剰金を平成21年度に繰越すとの報告を受けた。



副市長として最後の答弁に立つ今氏



一 般 質 問



行財政改革に聖域なし

市民連合

佐藤 靖 議員

積極姿勢を問う

問 各種計画の市民周知、職員周知にもっと積極的に取り組み、実効性をさらに高めるべきだ。また、行財政改革は既得権や既成概念にとらわれることなく行うべき。特に公共施設のあり方を検討するに際しては、ハード、ソフト両面の情報を盛り込んだ「施設台帳」に仕上げ、真のスクラップ・アンド・ビルドを聖域なく行うべきだ。

答 総合計画を具現化する各種計画は22件策定している。より実効性を高める取り組みを今後も検討し、実行したい。行財政改革はスピード感を持って取り組む。公共施設も聖域を設けず、管理調書のファイル化も行いながら統廃合



市民が主役のまちづくり

緑風クラブ

大石 健二 議員

幹部職員再就職先の公表を

問 明春以降の向こう3年間で、定年退職が見込まれる団塊の世代と呼ばれるベテラン職員の大量退職に伴い、後を引き継ぐ職員との間で行財政事務事業の執務・執行に支障が生じることはないか。また、名寄市として、人事行政をより公正でより透明なものにするために、大量に退職する幹部職員の退職後の再就職状況を公表する考えはないか。

答 組織として大きな転換期であり、一時的に少なからず影響が出る。定年退職した職員の再就職先については、天下りとの指摘を受ける幹旋は行っておらず、公表する考えはない。

政策財務への市民参加を

を含め行う。

市立総合病院の将来は

問 行政報告で「年内」としていた改革プラン<sup>1</sup>の策定スケジュールは。また、看護師の募集を現在も行っているが、今後の見通しは。

答 当初改革プランは年内策定を目指していたが、10月をメドの策定となる。期間的に厳しいが最大限取り組む。看護師はICU稼働の11月までに10人程度必要であり、7月採用に向け募集しているが、現実には厳しいものがある。



島市長を本部長とした行財政改革推進実施本部

問 名寄市の財政が、危機的状況にあるということは厳然たる事実であるが、見方あるいは視点を変えて眺めれば、市民の皆さんに名寄市の行財政、つまり自治のあり方を積極的に見直してもらい、あるいは市民参加を願う絶好の機会ではないか。この好機を捉えた施策について、具体的な施策は？

答 市民には、名寄市のホームページや広報などを通して、財政情報の周知を図っていく。他の質問・名寄市自治基本条例の制定について



市民が主役のまちづくりが求められる名寄市

一 般 質 問



健全なまちづくり

緑風クラブ

田中 好望 議員

市財政の現況と将来像

**問** 新たに自治体財政健全化法が制定されたが、その基準の評価は。また、財政の現況と今後の見通しは。

**答** 新自治体財政健全化法により、平成20年度決算から再生団体に移行する新基準が適用され、病院会計や水道会計を含む全会計の連結実質赤字比率が30%以上となっている。この基準については、妥当なものだと判断している。

北海道新聞社が実施した行財政改革に関するアンケート調査に対し、現在の名寄市の財政状況は「どちらかといえば悪い」、5年後の財政見通しは「現状と変わらない」、「当面、財政再生団体になる心配はない」、「当面、早期健全化団

体になる心配はない」と回答した。

分権推進について

**問** 地方分権改革推進委員会の勧告を、どう受けとめたか。

**答** 都道府県から市町村へ、359件の事務権限の移譲が予定されている。当市では、分権改革の趣旨を踏まえ、市民の視線に立ち推進していく。これらに伴う事務量増加による必要な財源や人的支援がなければ、対応が難しい。今後、更に行政能力の向上に努める。

他の質問・名寄市行財政改革について



市民も市財政も健康が第一



子供と向き合う時間確保を

公 明

高橋 伸典 議員

外部人材活用事業の導入を

**問** 教員不足と忙しさは全国共通。教師は保護者からの要求や事務作業に追われ、子供と話す時間や授業の準備に十分な時間が取れない。退職教員や優れた知識、技術を待つ社会人の教育現場への活用と、幼小・小中連携教育の推進を。

**答** 平成20年3月で、市内小中学校において、退職する教員がいなかった。少人数教育など幅が広がることから、教職員定数の抜本的改善を含め、外部人材活用事業を進める。小中連携は、教育課程の整合性が必要。幼小連携については、入学時の引き継ぎなど一層進めていきたい。

市立病院の駐車場対策

**問** 市立病院周辺の路上に、駐車車両があふれ

ている。交通安全対策と今後の駐車場対策は。

**答** 職員、委託業者には、通勤距離が短い場合はマイカーでの通勤をしないよう指導しており、一般来訪者の駐車スペースをより多く確保している。周辺の安全と通行に支障のないよう、しっかり指導していく。抜本的な解決策は、敷地内を有効に活用した立体駐車場化と考えている。そのためには、精神科病棟の改築に目途がつくことが必要と考えている。

他の質問・中学校の私塾連携を



幼小連携教育の推進が求められている

一 般 質 問



農業者育成ビジョンを

市民連合  
竹中 憲之 議員

農用地の流動化施策は

問 農業経営者の高齢化にともない、農用地の流動化・集積が進むと思うが、行政の対策は。

答 流動化の施策としては、農家子弟である農業後継者の育成確保を基本に、農業生産法人の育成、新規就農参入者の受け入れの推進を図る。農地流動化にあたっては、農地保有合理化事業やスーパーL資金<sup>2</sup>の活用を図るとともに、産地づくり対策での担い手経営拡大支援対策、土地基盤整備と一体となった流動化対策により、認定農業者への農地利用集積を進める。

今後の指定管理者制度

問 指定管理者制度の活用で、今後対象施設等を拡大する考えはあるのか。また、行政として

ハード・ソフト面でのメリット・デメリットは。

答 現時点での指定は31施設(14団体) 委託料は平成20年度予算で16億4,384万円。

推進計画で導入を予定される施設は、保健センターを含めて25施設。民間の事業者に事業を行ってもらい、地域の経済の活用化につなげてもらうことが狙いであり、行政としての財政メリットはない。今後、更新期に十分な検討を加え、財政面でのメリットを出せるようにしていきたい。

他の質問・望湖台の遊具、施設等の整備及び管理について



指定管理者制度の拡大が予定される施設



名寄らしい居住環境

市政クラブ  
佐々木 寿 議員

住宅マスタープラン

問 今後の事業予定と重点目標は。また、三世代住宅の奨励策と空き家バンクの取り組みは。

答 平成20年度は、名寄地区で南団地(仮称)の建設に着手し、風連地区では西町団地の建替え事業を実施する。

重点は、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまち・住まいづくり 公的住宅・民間住宅をあわせた総合的な住宅市場の活性化 まちなか居住の推進の3点を目標に進めていきたい。

市内の三世代住宅の割合は少ないと判断しているが、財源問題など多方面の検証も必要で、プラン見直し時までの研究課題としたい。

空き家バンクの取り組みについては、市民サービスの向上になるよう研究したい。

自転車の管理施策は

問 放置自転車対策、自転車の有効活用及びエコ公用自転車の導入は。

答 放置自転車、自転車の有効活用については、今後、関係部署と協議し研究していきたい。

エコ公用自転車は、8年前から導入し、本年度は名寄庁舎に5台配置し活用している。

他の質問・高齢者福祉について



名寄市住宅マスタープラン



一 般 質 問



観光・商業で街に元気を

市政クラブ  
駒津 喜一 議員

■天塩川流域の観光

**問** 北海道遺産でもある天塩川流域を利用して8月に開催されるカヌーツーリング大会に対する協力は。また、流域の市町村と連携してシーニックバイウェイのルート指定を受け、交流人口の拡大と地域活性化を図っていくことが必要では。

**答** 天塩川の自然については、こうした大会を通じ、情報交換や人的交流を創出し地域振興を図り、大会には関係団体等を通じ市職員も協力させていただく。ルート指定については、管内道の駅をネットワーク化して環境が整い次第検討していきたい。

■地域通貨券について

**問** 地域通貨券の循環は、商業の活性化だけではなく、生産、流通の地域経済活性化も期待でき大きな意味があるが、その支援について。

**答** 現在実施されている地域通貨券は、大売出し実行委員会による期間限定の通貨券だが、今後も関係機関を通じ協議を行い引き続き支援策を講じていきたい。また、中心市街地活性化のハード事業と整合性のあるソフト事業として、支援策を検討していきたい。

他の質問・エコマネーの活用・ボランティア活動への協力



ダウン・ザ・テック・シーオーベック 2008年



住みよい名寄市を

凜風会  
木戸口 真 議員

■住民サービスの統一を

**問** 一般家庭ごみの収集体制の統一と、「協働のまちづくり」の観点からも、ステーション方式に統一出来ないか。

**答** 名寄地区では戸別6割、ステーション4割体制で、風連地区はステーション方式を採用している。収集経費は、ステーション方式から戸別方式に変更すると、人件費を中心に2～3割程度の負担増となる。旧名寄市では、ステーションのトラブルにより、昭和50年代に戸別収集になった経緯があり、ステーション設置費用・指導費用などの負担増となり統一に向けて課題も多く、現行の収集体制で進みたいと考えている。

■あくまでも検討素材

**問** 小中学校適正配置検討委員会の「検討素案」に基づき統廃合を進めるのか。

**答** 適正配置計画では、統廃合を含めた具体的対象校や年次は示してない。「検討素案」は、諮問資料として再編構想を描き協議の素材と示したもの。適正配置実施計画策定後、統合準備協議会で意見・要望の集約に努める。



風連地区のゴミステーション

一般質問



農業振興施策について

まちづくり

渡辺 正尚 議員

農業振興施策について

**問** 名寄市新農業・農村振興計画が、平成19年度～28年度まで10年間の計画で昨年度から始まっている。今後数年は、国や道の施策体系の再構築やWTO農業交渉等による国際情勢など、農業・農村を取り巻く情勢が大きく変化することが予想される。当市では、どのような施策を実施しようと考えているのか。農業者の所得向上施策が不可欠だと思うが。

**答** 水田・畑作経営所得安定対策や、新産地づくり対策、農地・水・環境保全対策等を積極的に推進していく。

医療機関の環境について

**問** 市立病院周辺の環境は、敷地内全面禁煙に

なってから、年に数件の医療ミスが起きている。私が、前から提案している2坪程度の土地を分筆し、敷地外にして、たばこ税収入の1%程度を使えば喫煙室が出来ると思う。そうすれば、裏口付近の環境も良くなるし、医療ミスや受動喫煙被害も無くなると思うが。

**答** 市民の健康の為に、今は考えていない。他の質問・中心市街地活性化について・医療機関における看護師の補充について・インフラ整備計画について



実り豊かな農業施策を



市民健診の充実を

日本共産党

川村 幸栄 議員

特定健診について

**問** 早期発見・早期治療の今までの健診にかわり、メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満）を早期に発見、指導することに重点を置いた特定健診は、受診率・成果目標を定め、結果によって後期高齢者医療制度への支援金の加算減算（±10%）のペナルティーがあるが、目標達成のための名寄市の策は。また、後期高齢者医療制度に移行した、75歳以上の健診はどうなるのか。「健康都市宣言」をしている名寄市独自の健診内容を考慮してもいいのではないか。

**答** 実施率の結果によって国保が負担する額は、おおよそ3,000万円。今後、受診率をどう向上させるかが課題。健診の主体者が自治体か

ら保険者に代わったことで問い合わせも多い。広報やパンフレットの配布、保健推進委員などを通して説明会の開催や市民周知を図りたい。

75歳以上の健診は、広域連合が保険者で市が健診を実施。今まで通り無料。生活習慣病（高血圧等）で治療中は対象外となるが、受診勧奨や情報提供、健康相談などで充実を図りたい。他の質問・農業行政（アスパラ霜被害対策等）について・市立天文台建設について・生徒指導連絡協議会について



特定健診のお知らせと受診をすすめる広報



一 般 質 問



地域自治区の設置を

凜風会 佐藤 勝 議員

■ どう描く特例区終了後

**問** 住民と行政が連携し共に創るまちを目指し、さらに分権型の合併を推進し地域主権の確立のために、合併協定書の確認事項で地方自治法に基づく地域自治組織(特例区・自治区)を設置することになっている。風連町合併特例区終了後の住民自治組織をどう描いているか。さらに、名寄地区では「地域自治区」ならぬ「地域連絡協議会(仮称)」の設置に向け協議が進められているが、合併協定書の確認事項である「地域自治区」設置との整合性をどう図るのか。町内会連合会の活動と競合することにならないか。

**答** 特例区終了後、一つの市に二つの制度は好ましくなく当分の間、風連地区においても名寄

地区と同じく「地域連絡協議会」を組織したい。協議会設置は町内会機能を従来そのままとし、小学校区を基本に広域的に市民の意見・要望等を行政に反映させる役割を担っていただき、地域の発展を図り連携を深めたいと考えている。

■ 自治基本条例に記載を

**問** 合併協定書の確認事項である「地域自治区」を自治基本条例に盛り込み、制度化を担保すべき。

**答** 市民懇話会と、文言に盛り込めるか協議する。他の質問・レジ袋を考える・全員参加の成人式



白樺まつりでは、特例区事業である東京都杉並区交流の「高円寺阿波踊り」がまつりを盛り上げた



「健康なよろ21」

市政クラブ 岩木 正文 議員

■ 市民の健康について

**問** 「健康なよろ21」の計画に対する市民周知と進行管理について。

**答** 市民一人ひとりができること・地域ができること・行政ができること、三者が力を合わせて、健康づくりを市民運動として盛り上げていきたい。ダイジェスト版を全戸配布したところであり、健康に関する情報提供や市民周知を図り、健康づくりの実践に努めていく。この計画の具体的な実施についても報告・協議の場を設けて進行管理に努めていく。

■ 学校教育について

**問** 体力テスト、学校図書、児童へのヘルメット着用指導について。

**答** 本年度は11校が実施するが、来年度以降は全小中学校が実施予定。体力・運動能力の向上に努めていく。学校図書の充実が必要との認識のもと、各学校との協議を行い対応を図る。ヘルメットの着用については、通学ばかりではなく、それ以外の着用についても、各学校や関係機関と協力しながら周知徹底を図っていく。サイクリングクラブにおいても、学校として着用を義務付けるよう指導していく。

他の質問・救急車利用の現状について



市民の理解を深めよう

## チャレンジデーに参加 議員会



スリッパを持つての応援もむなしく  
惨敗した議会チーム

### 綱引き 一般の部に出場

「チャレンジデー 2008」市民綱引き大会は、小学生など 97 チームが参加し熱戦が展開されました。私たち市議会議員会も、昨年 2 勝した実績をもとに普段の運動不足をも省みず、あわよくば今年もの意気込みで試合に臨んだのでした。

第一試合の対戦相手は、強靱な肉体を誇るメンバーが揃った下多寄ファイターズ。当初から苦戦は予想していましたが、結果は案の定、勝った負けた以前のレベルで、引く前からの見事な負けっぷりとなってしまいました。その後、下多寄ファイターズは優勝し、我らは来年に向けてリベンジの日々が続くこととなりました。

## ◆◆◆ 用語解説 ◆◆◆

### 1 改革プラン

正式名称は公立病院改革プラン。平成 20 年度中の策定が求められており、病院事業経営の改革に総合的に取り組むもの。プランは 経営効率化 再編・ネットワーク化 経営形態の見直し の 3 つの視点となっており、うち経営効率化にかかる部分は 3 年程度、再編・ネットワーク化及び経営形態見直しにかかる実施計画については 5 年間程度の期間を対象として策定することが求められている。

### 2 スーパーL資

農業経営基盤強化資金をいう。農業経営改善計画に即して、規模拡大その他の経営発展を図るのに必要な長期低金利資金を農林漁業金融公庫から融資するもので、貸付限度額は個人 1 億 5 千万円(複合経営等 3 億円)、法人 5 億円(特認 7 億円)などとなっている。

### 3 シーニックバイウェイ

景観の形容詞(シーニック)と、わき道・より道を意味する言葉(バイウェイ)を合わせた言葉。地域と行政が連携し、景観や自然環境に配慮し、地域の魅力を道でつなぎながら個性的な地域、美しい環境づくりを目指すもの。

### 可決された意見書

- ・高齢者医療の抜本的な見直しを求める意見書
- ・地域財政の充実・強化を求める意見書
- ・障害者医療費助成に関する意見書
- ・食料自給率向上へ農政の根本的転換を求める意見書
- ・福祉の人材確保に関する意見書
- ・携帯電話リサイクルの推進を求める意見書
- ・日本映画への字幕付与を求める意見書
- ・国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書
- ・国営造成農業水利施設等の着実な整備・維持・更新に関する意見書

## 委員会活動をお知らせします

### 総務文教常任委員会

委員会を5月26日に開催し、所管する総務部、教育部、市立大学の各課及び担当から、平成20年度の課題や取り組みについて説明を受けた。

その中では、第3回定例会に提出予定の「ふるさと納税制度」のイメージ、11月に示される

中期財政計画などについて質疑がで、来年度に13人の教員が退職する市立大学の実態が報告され、今年度の大きな課題が浮き彫りになった。



4年制大学になって3年目を迎えた名寄市立大学

### 民生常任委員会

委員会は、4月17日の第2回臨時会で付託された「名寄市高齢者自立支援事業条例の一部改正」の条例審査のため、4月28日、5月15日、19日の3回開催した。改正内容は、除雪サービス等助成事業の対象者と助成額を見直しするも

の。委員会では、65歳以上69歳までの、虚弱と認められる者のみの世帯も対象とする原案の一部修正を行い、今定例会で可決した。



充実した除雪サービスを

### 経済常任委員会

3月21日に委員会研修会を開催し、道内102番目の道の駅として4月20日オープンの「もち米の里 なよろ」と、各種栽培試験や農業技術指導などの拠点施設である「名寄市農業振興センター」を視察し、今後の事業内容について

担当者から説明を受けた。

また、新規就農者の状況と支援策、中心街地域活性化基本計画について報告を受けた。



道の駅では農産物コーナーが人気の的

### 建設常任委員会

第2回委員会を4月11日に開催し、平成20年度主要建設事業の概要、名寄市都市計画マスタープラン、水道施設整備事業に係る再評価の進捗状況、平成19年度除排雪の状況について報告を受けた。道路整備では、ガソリン税などの

暫定税率が失効し、地方道路整備交付金を財源としている本年度予算8事業のうち、6事業に発注が遅れるなどの影響があるとの説明があった。



南団地(仮称)イメージ図(名寄地区)

### 議会運営委員会

委員会は、第1回定例会以降4回開催し、4月17日の第2回臨時会の日程を、「名寄市職員定数条例の一部改正について」外6件について議案とした。5月19日には、第3回臨時会について「名寄市国民健康保険税条例の策定につい

て」外3件について審議することとした。30日には、第2回定例会の開催を6月2日から16日までの15日間と決め、一般質問予定者を12名と確認し、又、議会初日の追加日程に「副市長の選任について」を行うこととした。会期中の委員会にて、意見書9件と各常任委員の派遣についても確認した。



# へこたれない



## スポーツ！

風連町字豊里 林 慶三

幼い頃から運動が好きな自分。今でも週2回のミニバレー、冬はスノーボードを楽しんでいる。ミニバレーは始めてから2年余。なかなか思い通りのプレーが出来ない自分がもどかしい。体の衰えに負けず、もっと上達しなければ！また実際にプレーするのは別に、テレビでスポーツ観戦するのもすごく面白い。常に全力を尽くしプレーしている選手たちの姿を見ていると、こちらにも感動と興奮を与えてくれる。

さて今年は五輪イヤー。北島康介に星野ジャパン...日本は何個のメダルを取れるのか興味は尽きない。よし、自分も選手と共に戦っている気持ちで観戦しよう。頑張れ日本ジャパン！



## 街をつくる医者として

名寄市西3南8 高橋 直樹

父が経営する高橋組に入社し早8年が経ちましたが、残念な事に昨今の政治情勢を見る限り、建設業界のみならず、あらゆる生活に疲弊をもたらす世の中になってきているように思われます。これも戦後最短で走り続けた経済大国日本の歪みが、今降りかかっているとも思われます。

しかし、私ども建設に携わる者として、今後の街づくりを始め生活に密着した生活空間の創造と、あらゆる時代にも夢を持てる環境の場をつくる医者として、これからも微力ながらお客様に喜ばれるものを創っていこうと思っています。今後とも、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

## 議会日誌

- 3月25日 ・議会改革調査特別委員会
- 4月11日 ・建設常任委員会
- 14日 ・各会派代表者会議  
・北海道市議会議長会道北支部議長会(市内)
- 17日 ・議会運営委員会  
・第2回臨時会  
・議会改革調査特別委員会
- 21日 ・地方分権改革・道州制調査特別委員会(東京都)

- 24日 ・北海道市議会議長会定期総会(北広島市)
- 28日 ・民生常任委員会
- 5月13日 ・全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会(東京都)
- 14日 ・神奈川県海老名市議会行政調査来名
- 15日 ・民生常任委員会
- 19日 ・議会運営委員会  
・第3回臨時会  
・民生常任委員会  
・議会改革調査特別委員会(作業部会)
- 23日 ・議長会宗谷線部会(美深町)

## 編集後記

「食料サミット」は、穀物等の高騰に伴って貧困層を中心とした飢餓が拡大していること等により緊急開催となった。高騰の要因は、気候の変動・新興国の需要拡大・干ばつ・バイオ燃料への転換等と言われている。日本は多くの食料を輸入しているが、世界の穀物生産国は自国の食料確保のために輸出規制(輸出関税)を強

化している。世界各国に安定支援(食料・農業投資・技術支援等)が求められているが、日本として国内外の施策を今後どう進めるのか。

第2回定例会では12名の議員が一般質問に立ち、行財政改革ではパブリックコメントの重要性、中心市街地活性化では商店街経営者との会話の重要性について、農業では新たな農業施策の検討など35項目の質問が行われた。(憲)

